

1. 指導目標

- ・書かれている事実に基づいて読み、そこに描かれた人々の知恵や生き方に対して自分の考えをもつことができる。(読むこと エ)
- ・本から人の生き方を学ぶことに気づき、ノンフィクション、伝記やドキュメンタリー等人的の生き方について描かれた本を読み、自分の読書の世界を広げることができる。(読むこと ア)

2. 単元名 読書の世界を広げよう

3. 教材名 「千年の釘にいどむ」

4. 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識 ・理解・技能
第一 次	①「千年の釘にいどむ」の話題や写真、文体、白鷹さんの生き方等に興味をもって読み進めようとしている。	①古代の人々の知恵、職人の工夫や努力、生きざまを読み、自分の考えをもっている。 ②キーワードをもとに、古代の釘作りにいどむ白鷹さんのすごさについて感じたことを交流し、それぞれの考えを確認したり深めたりしている。	①文末表現に着目し、意見の述べ方と事実の述べ方の違いに気づいている。
第二 次	②本から人の生き方について学ぶことに気づき、さらに他の本を読もうとしている。	③「千年の釘にいどむ」での学習をきっかけに先人の生き方を描いた本を読み、読書の世界を広げている。	②本の内容を理解するために必要な語句について辞書を利用して調べている。

5. 単元について

(1) 児童の実態

今年度になり、子ども達は、説明文「サクラソウとトラマルハナバチ」で、文章構成を考え、要旨をとらえる学習をしてきている。話題提示文や接続語、内容に着目しながら文章を読み、筆者の主張をつかむところまではできた児童が多かったが、筆者の主張に対して自分の意見をもつということについてはまだまだ不十分な児童が多い。また、国語科の授業にかかわらず、日ごろから、発言に消極的な児童が多く、自分の考えをまとめて分かりやすくみんなに伝えるという段階にはいたっていない児童がほとんどである。今回、自分なりの読みをキーワードにまとめ、友だちと対話で交流するという活動を展開するが、自分の読みをキーワードにまとめることも初めてなら、対話での交流も初めてに近い状態である。それでも、2人組での交流ということで、たくさんの友だちと考えを聞き合い、自分の考えと比べ

るような活動が展開できたらと願っている。そして、多くの友だちの考えを聞くことで、「千年の釘に
いどむ」に対する考えがその子なりに少しでも深まることを期待している。

本単元のねらいは、読書の世界を広げることである。子どもたちの読書タイムや課外での読書の様子
を見てみると、意欲的に読書をする子、近くに本があれば読む子、すすめられてもなかなか読めない子
に分かれる。また、たくさん読んでいる児童でも、読書傾向にはかなり偏りが見られるようである。そ
こで、本単元の学習に入る前に、各自が自分の読書傾向を調べてみた。すると、物語文ばかり読んでい
る子が多く、やはり偏りがあることが分かった。本単元「読書の世界を広げよう」は、まさしく本学級
の児童にとってぴったりの教材である。自分の読書生活をふり返り、「千年の釘にいどむ」という文章
に出会うことで、今後の読書生活を広げようとする意欲をもってくれるであろう。

(2) 指導にあたって

今までに数多くの説明的な文章を学習してきたが、今回の「千年の釘にいどむ」のような書きぶ
りの文章に出会うのはおそらく初めてであろう。一文一文が短く、読者に畳みかけるように迫ってくる。
内容は決して平易ではないが、興味をそそる書きぶりで、次々と読み進めていきたくなる文章である。
この文章を通して、児童は、古代の釘の見事さとそれを作り出した古代の人々の知恵、その釘にいどむ
白鷹さんの心意気に心動かされるにちがいない。第一次の学習では、その感動や驚きをお互いに交流し
合うことを大切にしたい。また、自分の読みをキーワードにまとめるという活動を通して、各自の読み
を再確認したり、友だちの読みを知ったりする交流活動へとつなげたい。キーワードを交流し合うこと
で、自分と同じ考えや異なる考えにふれ、自分の考えを広げたり、より確かなものにしたりが
できるであろう。また、交流する中で白鷹さんの生き方についても学ぶことができるであろう。

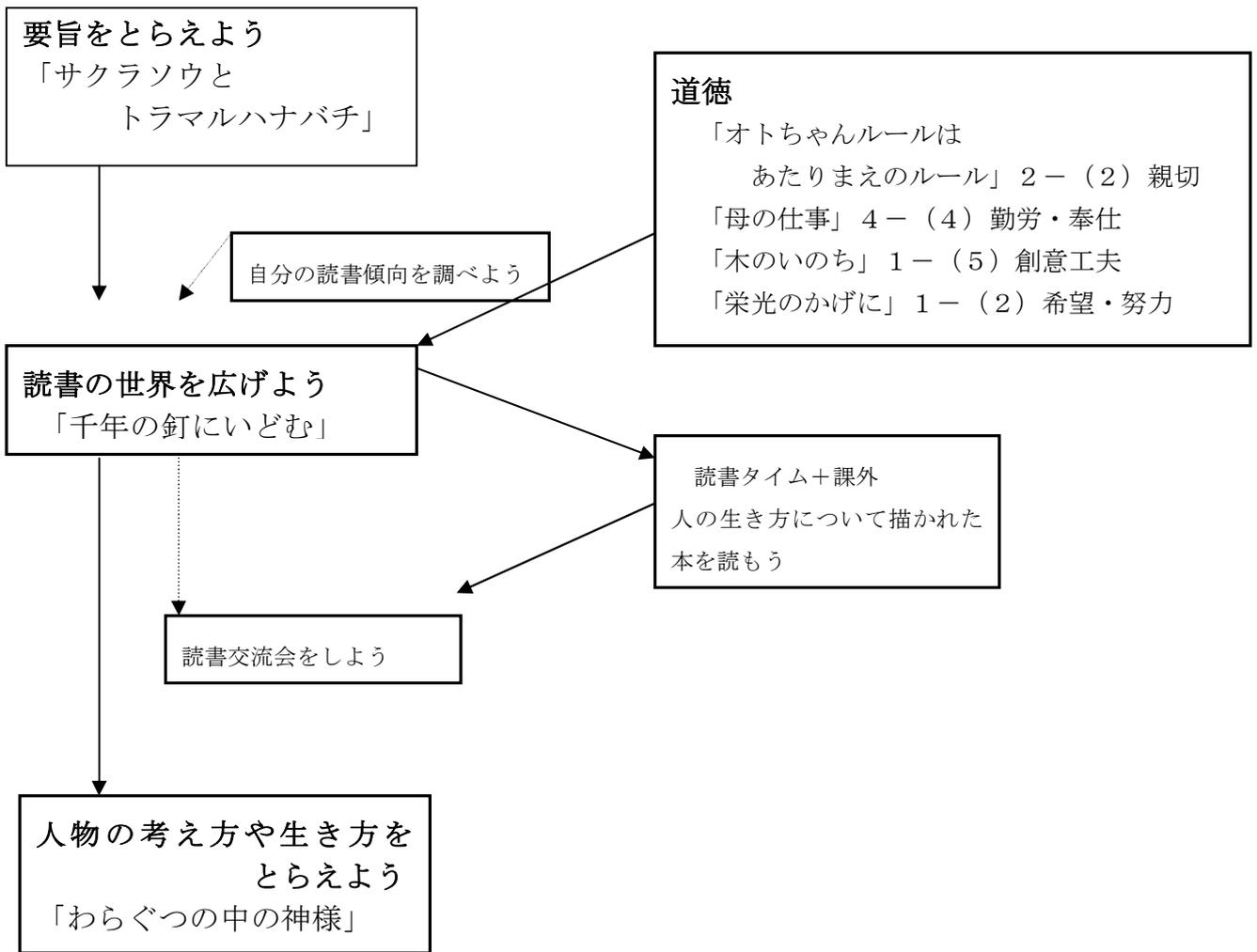
第二次の学習では、「千年の釘にいどむ」で白鷹さんに出会えて得たことを確認し、ノンフィクショ
ン・ドキュメンタリー、伝記といった先人の生き方が描かれている本を読みたいという意欲をもってほ
しいと願っている。そのためにも、本の中で白鷹さんに出会えた感動がさめないうちにそれらの本を紹介
し、すぐに手の届くところに並べておきたい。さらには、学校図書館司書と共同でブックトークを行
うことで、児童の意欲関心を喚起できればと思う。「千年の釘にいどむ」以外の本を読むことで、白鷹
さんのような生き方をしている人がたくさんいること、さらには、本を読むことでいろいろな人の生き
方にふれることができることに気づいてくれることを願っている。

本単元の学習が、今まであまり本に関心がなかった子が意欲的に読書をするようになったり、物語し
か読まなかった児童が新しい分野（ノンフィクション・ドキュメンタリー、伝記）の本へと読書の世界
を広げたりするためのきっかけになってくれることを期待している。

(3) 本単元との関連

国語科

その他の教育活動



6. 単元の学習計画 (総時数 12 時間+課外)

	学習のねらい	学習活動	支援 (○) と評価 (★) 特に支援を必要とする子への手立て (◎)
第一 次 7 時	教材文を読んで、古代の人々の知恵，職人の工夫や努力，心意気を知り，そこから学んだことをキーワードに表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題名から内容を推測して読み，初めの感想を書く。(1) ・ 感想の交流をし，内容の大体を 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題名の「いどむ」に着目して内容を推測させる。 ★ 興味をもって読み進め，感想を書いている。(関① 発言・ノート) ◎ 感想がもてない子には，驚いたこと，疑問に感じたこと，感銘をうけた部分に線を引くように助言する。 ○ 児童の発言を整理し，読みの視点が明

		<p>つかむ。 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鷹さんが発見した古代の釘の見事さから、古代の人々の知恵を知る。 (3) <ul style="list-style-type: none"> ・古代の釘と現代の釘の大きさや材料の違い ・古代の釘の形のひみつ ・古代の釘のかたさのひみつ ・白鷹さんの釘づくりにかける職人としての意地を読み、古代の釘作りにいどむ白鷹さんの思いや姿から「すごい」と感じたことをキーワードにまとめよう。 (1) ・キーワードをもとに白鷹さんの生き方から学んだことを対話で交流しあう。 (1) 【本時】 	<p>らかになるように、板書を工夫する。 ★驚いたこと、疑問、感動したことなどを発言し、友だちと交流している。 (読① 発言) ◎進んで発言できない子には、前時に書いた感想を参考にするようにすすめる。 ★古代の釘の見事さを読み、古代の人々の知恵について理解している。 (読① 発言・ワークシート) ○写真や挿絵も手がかりにしながら読むようにすすめる。 ★文末表現に着目して読んでいる。 (言① 発言) ◎見事さを読むために、「～ほしい。」「～ないか。」「～だろう。」など、文末表現に筆者の思いが強く表れていることに気づくようにする。 ★白鷹さんの釘づくりにかける職人の意地や生き方について読み、そこから学んだことをキーワードにまとめる。 (読① 発言・ワークシート) ◎古代の釘に負けないものを作り出そうとする白鷹さんの思いが分かる部分に線を引きながら考えるよう助言する。 ★キーワードをもとに、古代の釘作りにいどむ白鷹さんのすごさについて感じたことを交流し、それぞれの考えを確認したり深めたりしている。 (読② 発言・ワークシート) ○自分が、白鷹さんを「すごい」と感じた部分の紹介を交えながら話をするよう助言する。 ◎これまでに授業の中で出てきた言葉を想起し、自分の思いに近いものを選ぶよう助言する。</p>
第	「千年の釘にいどむ」	・「千年の釘にいどむ」のように	★ブックトークを聞いて、自分が読みた

<p>二 次 5 時 + 課 外</p>	<p>に出会ったことで白鷹さんの生き方について学べたことに気づき、先人の生き方について描かれた本を選んで読み、読書の世界を広げることができる。</p>	<p>優れた先人の生き方が描かれている本の紹介を聞く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンタリー、ノンフィクション、伝記など、先人の生き方が描かれている本を選んで読む。(2+課外) <p>・読んだ本について学んだことをキーワードにまとめる。(1)</p> <p>・キーワードをもとに、先人に生き方から学んだことを交流する。(1)</p>	<p>い本を選ぼうとしている。</p> <p>(関② 観察)</p> <p>○より興味深く聞けるように、学校図書館司書のブックトークを聞く。</p> <p>★目的にあった本を選んで読んでいる。</p> <p>(読③ 観察)</p> <p>○ブックトークで紹介した本以外にも多数用意しておく。</p> <p>◎読みたい本を選べない子には、個別に本の内容を紹介する。</p> <p>★本の内容を理解するために必要な語句について辞書を利用して調べている。</p> <p>(言② 観察)</p> <p>○5年生にとっては難しい内容の本もあるので、困ったときには辞書を使うように勧める。</p> <p>★「千年の釘にいどむ」での学習経験を生かし、読んだ本から学んだ人々の生き方をキーワードにまとめることができる。(読③ ワークシート)</p> <p>★本から人の生き方について学べることに気づき、さらに友だちとの交流をすることで、他の本を読もうとしている。</p> <p>(関② ワークシート・発言)</p> <p>○交流をする中で、さらに読みたくなった本が見つかった人は読書タイムや課外で読むようにすすめる。</p>
---	---	--	--

7. 本時について【第1次 7/7時】

(1) 目標

キーワードをもとに、古代の釘作りにいどむ白鷹さんのすごさについて感じたことを交流し、それぞれの考えを確認したり深めたりしている。(読むこと エ)

(2) 準備

ワークシート・キーワードを書いた紙

(3) 展開

配時	学習活動	支援 (○) と評価 (★) 特に支援を必要とする児童への手立て (◎)
10	<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>それぞれが感じた「白鷹さんのすごさ」を対話で交流し、一人ひとりの読みをみんなのものにしよう</p> </div> <p>〔・自分の考えと比べながら聞く。 ・友だちの考えのよさを見つける。〕</p> <p>ことを大切に交流しよう。</p>	<p>○これまでの学習を想起し、今日は、それぞれのキーワードとそのキーワードは、白鷹さんのどんな姿や思いからまとめたものなのかを聞き合うことを確認する。</p> <p>○児童のキーワードの中から、いくつかのキーワードを提示し、児童の関心を高める。</p> <p>○一人ひとりの読みをみんなの読みにするために、できるだけたくさんの方と交流することを確認する。</p> <p>○聞き方のめあてを全体で確認する。</p> <p>○友だちとの交流から感じたことも最後に発表することを伝える。</p>
15	<p>2. 対話で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何度もちょう戦する 白鷹さんが、もっといい釘を作るために何度も何度もちょう戦したことがすごいと思ったから。 ・ 釘作りが大好き 何度もちょう戦するなんて、釘作りが大好きなんだと思いました。 ・ 釘作りにいどむ強い気持ち 古代の職人に負けたくない、実験をくりかえしたりして、白鷹さんには、いい釘を作りたいをいう強い気持ちがあると思いました。 ・ 職人としての意地 四国の代表として、選ばれたので職人としての意地があるんだなと思いました。 	<p>★キーワードをもとに、古代の釘作りにいどむ白鷹さんのすごさについて感じたことを交流し、それぞれの考えを確認したり深めたりしている。</p> <p>(読② 発言・ワークシート)</p> <p>◎「5人以上の人と交流する。」というように数値目標を明らかにする。</p> <p>○対話の間も、自分の考えと比べながら聞くよう、アドバイスする。</p>
10	<p>3. 何人かの読みをみんなで聞く。</p>	<p>○同じようなキーワードの何を何人か発表させ、共通する言葉を見つけ、さらに短いキーワードにまとめることができることを確認する。</p>
7	<p>4. 交流から感じたことを発表する。</p>	<p>○今日の聞き方のめあてである「自分</p>

3	<p>5. 本時のふりかえりを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの友だちの考えが聞けたので良かった。 ・同じ話を読んでいても、いろんな感じ方があることが分かった。 ・友だちの考えを聞いて、古代の釘にいどむ白鷹さんのすごさをさらに感じた。 ・もう一度「千年の釘にいどむ」を読みたくなった。 	<p>の考えと比べながら聞く。」「友だちの考えのよさを見つける。」ができたかをふりかえる。</p> <p>○意見が出ないようならば、ふりかえりのワークシートを先に記入してから発表する。</p> <p>○できれば友だちの発表を聞き、感じたことを発表し、人の生き方について書かれた本を読むことのよさにふれ、第二次へとつなげる。</p>
---	---	---

(4) 板書計画

